



**東京都立大学 (旧首都大学東京)
システムデザイン研究科
大学院入試概要説明**

研究科の構成

情報科学域 AI・データサイエンス, 人間情報・知能情報,
ソーシャル・マルチメディア

電子情報システム工学域 情報ネットワークシステム, 通信システム,
エネルギー情報システム

機械システム工学域 知能機械, 機械創成, 生体機械

航空宇宙システム工学域 流体力学, 推進システム工学, 材料・構造工学,
誘導制御工学, システム設計工学, 宇宙利用工学

インダストリアルアート学域 プロダクトデザイン, メディア創生

研究科の募集人数

博士前期課程

航空宇宙システム工学域及び
 インダストリアルアート学域は
 一般選抜の冬季入試を行わない
 場合があります

学域	一般選抜		社会人特別選抜		国費外国人留 学生特別選抜	
	夏季	冬季	夏季	冬季	夏季	冬季
情報科学	35	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
電子情報システム工学	60	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
機械システム工学	65	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
航空宇宙システム工学	30	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
インダストリアルアート	25	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
学域	一般選抜		社会人特別選抜		国費外国人留 学生特別選抜	
	夏季	冬季	夏季	冬季	夏季	冬季
情報科学	6	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
電子情報システム工学	6	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
機械システム工学	6	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
航空宇宙システム工学	4	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
インダストリアルアート	4	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名

博士後期課程

入試実績（2022年度入学募集分）

博士前期課程

学域	入学定員	志願者数	合格者数	入学者数 (2022年4月)
情報科学	35	64	50	43
電子情報システム工学	60	112	86	72
機械システム工学	65	97	79	74
航空宇宙システム工学	30	51	38	34
インダストリアルアート	25	50	32	32
合計	215	374	285	255

夏季入試と冬季入試の合算／10月入学は除く

入試実績（2022年度入学募集分）

博士後期課程

学域	入学定員	志願者数	合格者数	入学者数 (2022年4月)
情報科学	6	4	4	4
電子情報システム工学	6	3	3	3
機械システム工学	6	7	7	7
航空宇宙システム工学	4	2	2	2
インダストリアルアート	4	4	3	3
合計	26	20	19	19

夏季入試と冬季入試の合算／10月入学は除く

研究科の入試選抜方法

募集課程	選抜方法	試験科目
博士前期課程	一般	面接／英語*1／筆記試験*2
	社会人特別	口頭試問
	国費外国人留学生特別選抜	面接／英語*1／筆記試験*2
博士後期課程	一般	口頭試問
	社会人特別	口頭試問
	国費外国人留学生特別選抜	口頭試問

*1 英語は外部英語検定試験のスコアにより判定します（要スコア原本提出）

*2 筆記試験の出題範囲，試験時間等は募集要項をご覧ください

- ・ 入試スケジュールは全課程, 全選抜で共通
- ・ 各課程入学後の扱い（修了要件等）は選抜方法に依りません

スケジュール 2023年度入試 夏季入試

出願資格認定審査（該当者のみ）

受付：2022年6月6日 [月]（必着）

詳細は、募集要項をご覧ください

出願（郵送のみ）

期間：2022年6月27日 [月] ～ 30日 [木]（必着）

▶筆記試験免除申請期限（全3回）

①5月16日 [月] / ②6月13日 [月] / ③6月30日 [木]

試験

2022年8月9日 [火] , 10日 [水]

合格発表

2022年8月26日 [金]

スケジュール 2023年度入試 冬季入試

出願資格認定審査（該当者のみ）

受付：2022年11月18日 [金]（必着）

詳細は、募集要項をご覧ください

出願（郵送のみ）

期間：2022年12月15日 [木] ~ 16日 [金]（必着）

▶ 筆記試験免除申請期限：2022年12月16日 [金] *1回のみ

試験

2023年1月17日 [火]

合格発表

2023年1月27日 [金]

出願時の注意事項（博士前期・後期課程共通）

希望指導教員に事前に連絡をとり、受験の了解を必ず得る

全ての選抜において、

出願の前に希望する指導教員から受験承諾を得ること。

※電子情報システム工学域以外の志願者は、受験承諾書が必要です。

（筆記試験免除者の受験承諾書提出は不要）
成績証明書や卒業証明書は原本に限ります

卒業証書は原則認められません



博士前期課程入試の概要

一般選抜出願資格（1）

博士前期課程

以下の方が出願可能

- 大学^{*1}を卒業した者 または 出願年度内に卒業見込の者^{*2}
- 大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された方
または 出願年度内に授与される見込の方
- 専修学校の専門課程^{*3}を修了された方
または 出願年度内に修了見込の者
- 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）

*1 学校教育法第83条の規定に基づきます

*2 早期卒業見込の方は冬季入試のみ出願できます

*3 修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすもの

一般選抜出願資格（2）

博士前期課程

以下に該当する方は **出願資格認定** を経て出願可能

- 外国の大学等において修業年限が3年以上の課程を修了し
学士相当の学位を授与された者または出願年度内に授与見込の者
- 本入試の実施年度末時点において大学に3年以上在学し
本研究科が特に成績優秀と認めた者（いわゆる「飛び入学」）
- 本研究科が大学卒業者と同等以上の学力があると認め、入学年度開始日に22歳に達した者

試験科目／一般・国費外国人留学生特別選抜

博士前期課程

学域	試験科目
情報科学	面接／英語 *1／筆記試験（専門科目） *2
電子情報システム工学	面接／英語 *1／筆記試験（専門科目） *2
機械システム工学	面接／英語 *1／筆記試験（数学, 専門科目） *2
航空宇宙システム工学	面接／英語 *1／筆記試験（数学, 専門科目） *2
インダストリアルアート	面接／英語 *1／筆記試験（小論文） *2

*1 英語は 外部英語検定試験のスコアにより判定（要スコア原本提出）

*2 筆記試験（数学, 専門科目）の出題範囲, 試験時間等は募集要項をご覧ください

出願可能な外部英語検定試験

TOEIC Listening & Reading Test (旧TOEIC公開テスト)

第294回及び第295回のスコアを提出する場合に限り、出願時はインターネット上のスコアを印刷したものを提出しても構いません（原本は2022年7月5日（火）までに提出してください。）。

TOEFL-iBT

情報科学域は、自宅受験「TOEFL-iBT special Home Edition」及び「TOEFL-iBT Home Edition」で取得したスコアを提出することを認めます。

Duolingo English Test

情報科学域は、「Duolingo English Test」で取得したスコアを提出することを認めます。

対象外) TOEIC Speaking & Writing Tests, TOEIC Speaking Test,
TOEIC Bridge Test, TOEIC-IP (団体受験用)
TOEFL-PBT, 改訂版 TOEFLペーパー版テスト, TOEFL-ITP (団体受験用)

スコアの有効期限：

入学試験実施日から過去 2年以内に受験した成績

新型コロナウイルス感染症の影響等を考慮し、外部英語検定試験の取扱いを変更する場合があります。

変更の際には、システムデザイン研究科 HP (<https://www.sd.tmu.ac.jp/>) への掲載や受験票発送時に通知文を同封するなどして周知します。

筆記試験等免除制度

博士前期課程

- **対 象** 一般選抜 および 国費外国人留学生特別選抜
- **免除科目** 筆記試験 および 英語（外部英語検定試験）
- **必要条件** 学業成績が優秀であること
志望学域における勉学に高い意欲を持つこと
と合格した場合に入学が確約できること
- **申請機会**： 夏季入試は3回，冬季入試は1回

社会人特別選抜

博士前期課程

■ 出願資格

入学時まで企業等*¹において1年以上正規の職員として勤務し、勤務成績が優秀であると所属長に認められ、在職のまま入学を希望し、かつ、博士前期課程一般選抜出願要件（飛び入学要件は除く）のいずれかに該当する方（資格認定については一般選抜に準じます）

■ スケジュール：一般選抜と同じ日程

■ 選抜方法：口頭試問および書類審査

*¹ 民間企業（個人事業主含む）、官公庁、教育機関、研究機関等を指します

国費外国人留学生特別選抜

博士前期課程

■ 出願資格

日本国政府（文部科学省）国費外国人留学生のうち、入学後日本語で教育・研究指導を受ける意思があり、長期に渡る留学に耐えられる健康状態の者でかつ、以下の条件いずれかを満たす者

- 外国で学校教育 16 年の課程を修了した者または出願年度内に修了見込の者
- 本研究科が大学を卒業した者と同等以上の学力があると認め、入学年度開始日において 22 歳に達した者

■ 試験科目は一般選抜と同じ

■ 出願資格認定審査は免除

■ 入学後の講義は原則日本語で行います



博士後期課程入試の概要

一般選抜出願資格（1）

博士後期課程

以下の方が出願可能

- 修士の学位 あるいは 専門職学位 *¹ を有する方
または 出願年度末までに取得見込の方 *²

*¹ 学位の規定については募集要項をご覧ください

*² 在学年数が2年未満（早期修了）の方は冬期入試のみ出願可能です

博士後期課程に内部進学する場合は
入学考査料と入学料は免除されます。

一般選拔出願資格（2）

博士後期課程

以下に該当する方は **出願資格認定** を経て出願可能

- 文部科学大臣の指定した方（平成元年文部省告示 118 号）
- 本研究科が修士の学位 あるいは 専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた、入学年度開始日に 24 歳に達した方

社会人特別選抜

博士後期課程

■ 出願資格

入学時まで企業等*1において2年以上正規の職員として勤務し、勤務成績が優秀であると所属長に認められ、在職のまま入学を希望し、かつ、博士後期課程一般選抜の出願要件のいずれかに該当する者

(資格認定については一般選抜に準じます)

■ スケジュール：一般選抜と同じ日程

■ 選抜方法：口頭試問および書類審査

*1 民間企業（個人事業主含む）、官公庁、教育機関、研究機関等を指します

国費外国人留学生特別選抜

博士後期課程

■ 出願資格

日本国政府（文部科学省）国費外国人留学生のうち、長期に渡る留学に耐えられる健康状態の方でかつ、

以下の条件いずれかを満たす方

- ・ 外国において修士の学位 あるいは 専門職学位に相当する学位を授与された方 または 出願年度末までに授与される見込の方
- ・ 本研究科が修士の学位 あるいは 専門職の学位と同等以上の学力があると認めた、入学年度開始日に 24 歳に達した方

■ 出願資格認定審査は免除



博士前期課程修了後の進路

システムデザイン研究科修了後の進路

(過去数年間の主な進路先)

博士前期課程

情報科学域

NTTデータ・NTT東日本・NTTコミュニケーションズ・日本電気・富士通・日立製作所・三菱電機・パナソニック・キヤノン・ヤフー・コニカミノルタ・セイコーエプソン・ソニー・シャープ・富士ゼロックスSCSK・野村総合研究所・日本総合研究所・NEXCO東日本・楽天トヨタ自動車・本田技研工業・ボッシュ・デンソー・ファナック・ソフトバンク・日本マイクロソフト・(本研究科) 博士後期課程 ほか

電子情報システム工学域

旭化成・キヤノン・コニカミノルタ・スズキ・住友重機械工業・ソニー・ソフトバンク・デンソー・東レ・トヨタ自動車・豊田自動織機・ニコン・日産自動車・日本IBM・日本電気・日本電信電話・日本ユニシス・日本ヒューレットパッカード・野村総合研究所・パナソニック・富士通・日立製作所・富士電機・本田技研工業・三菱重工業・三菱電機・NTTデータ・JFEスチール・KDDI・(本研究科) 博士後期課程 ほか

システムデザイン研究科修了後の進路

(過去数年間の主な進路先)

博士前期課程

機械システム工学域

トヨタ自動車・日産自動車・三菱自動車工業・いすゞ自動車・日野自動車・本田技研工業・デンソー・JR東日本・JR東海・日立製作所・川崎重工業・三菱重工業・住友重機械工業・東京エレクトロン・ブリヂストン・NTTデータ・KDDI・野村総研・大和総研・日本総研・NTT東日本・ソフトバンク・キャノン・パナソニック・富士通・東芝・ダイキン工業・安川電機・横河電気・ファナック・オリンパス・帝人・テルモ・リコー・東京電力・大日本印刷・荏原製作所・東芝三菱電機産業システム・（本研究科）博士後期課程 ほか

システムデザイン研究科修了後の進路

(過去数年間の主な進路先)

博士前期課程

航空宇宙システム工学域

宇宙航空研究開発機構・三菱重工・川崎重工・IHI・SUBARU・三菱電機・日本電気・日本航空・全日空・トヨタ・本田技研・日産・マツダ・三菱・スズキ・デンソー・いすゞ・ソニー・パナソニック・キヤノン・富士通・リコー・日立製作所・ファナック・スカパーJSAT・JR（東日本・東海）・公務員（国家・地方）・NTTデータ・日本IBM・野村総研・日揮・日本郵船・商船三井・鉄道総研・アクセンチュア・ソフトバンクほか

インダストリアルアート学域

トヨタ自動車・トヨタ紡織・ホンダ・日野自動車・スバル・ヤフー・パナソニック・アシックスデザイン・イトーキ・オリエンタルランド・クリナップ・シチズン・島津製作所・シャープ・セガエンターテイメント・ソニー・電通ix・日本デザインセンター・星野リゾート・富士通デザイン・タカラスペースデザイン・富士通・JALスカイ・ミサワホーム・ヤマハ・丹青社・ランドマック・JR東日本・帝国データバンク・CASIO計算機・NEC・タクラム・（本研究科）博士後期課程ほか



学生に対する支援

経済支援

博士前期課程

博士後期課程

共通

<本学独自の制度>

▶ 授業料の減免・分納制度

詳しくは東京都立大学学生課のページをご覧ください。
<https://gs.tmu.ac.jp/exemption/>

<その他の制度>

▶ 日本学生支援機構奨学金（貸与）

※特に優れた業績による返還免除制度あり

▶ 民間・地方公共団体奨学金（給付・貸与）

<長期履修制度>

本研究科では、長期履修制度を導入しています。制度の利用を希望する場合、申請手続が必要となります。詳しくは、出願する前に日野キャンパス学務課教務係に問い合わせてください（電話番号：042-585-8611）。

<国の支援制度>

- ▶ **日本学術振興会特別研究員（DC1・DC2）（給付）**
月額 200,000 円（2023年度），研究費（科研費）
- ▶ **「産学官で活躍できるマテリアル革新を目指した次世代「双対型」人材育成フェローシップ」**

研究専念支援金：月額 155,000円（2023年度）

研究奨励費：年額 300,000円（2023年度）

詳細は、「産学官で活躍できるマテリアル革新を目指した次世代「双対型」人材育成フェローシップ」のご案内をご覧ください



研究科の入試概要説明は以上です